

第５７回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和８年６月２日（火）

午後３時１０分～午後４時２０分

場所：三木市役所　５階　大会議室

○事務局

失礼いたします。皆さん、こんにちは。

本日は、何かとお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから第５７回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開会いたします。

私は、協議会事務局の三木市都市整備部交通政策課長の●●と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、協議会会長の●●から御挨拶を申し上げます。

○会長

皆さん、こんにちは。

今日は少し台風も近づいてきておりますが、本当にこうした状況の中、多くのかたがた、お集まりいただきまして、ありがとうございました。

年度当初ということで、委員の交代もございますので、少しでも経緯もお話しさせていただきますと、この神戸電鉄粟生線活性化協議会については、平成２１年に始まったという会でございます。粟生線はもちろん、粟生線、ひいては公共交通の確保、維持に向けた取組を進めまして、現在では、令和４年１２月に策定いたしました神戸電鉄粟生線地域公共交通計画で掲げます目標、理念の達成に向け、基本方針に基づいた取組、また取組の検証、評価、改善に取り組んでいるところでございます。

例年３回大体開催しておりまして、本年度は今日が第１回となります。式次第にも書かせていただいておりますように、令和７年度の協議会の事業報告、歳入、歳出決算、また令和８年度の実行方針等を御審議いただくことになっております。また、併せて神戸電鉄粟生線の利用状況についても御報告をしていただきます。

また、例年２回目、秋頃に予定をいたしております。そのときには、協議会事業の進捗状況に加え、毎年１０月頃に神戸電鉄粟生線活性化の実行方針に対する国への要望ということで毎年行かせていただいておりますが、その事項についても第２回目の協議会では協議をさせていただきたいと思っております。

また、毎年、要望だけではなく、５月頃に予算を確保いただいたことへのお礼と併せまして、地元選出の国会議員、また国土交通省幹部と意見交換も行うなど、地道な取組もありまして、令和８年度に神戸電鉄に予定されている車両の更新、変電所設備の更新に伴う事業費の増大部分における補助につきましても、栗生線に係る予算はしっかりと確保いただけてると聞いております。

先般、国土交通省に、お礼にまいりましたけども、幹部のかたも非常に御認識いただきまして、今年も内示率１００％でしたかね、というような予算の確保ということになっておりますので、御報告させていただきます。

また、三木市の話題となりますが、５月１３、１４日に毎年三木市レディースゴルフトーナメントというものを、女子プロの大会を開催させていただいておりますが、本年は、廣野ゴルフ場で開催させていただきました。廣野ゴルフ場、駅前のゴルフ場ということもありまして、今回は駐車場を設けておりませんが、例年の観戦来場者数が約６００から７００人ではありますが、今年は１，４００人のかたが来場されたと聞いておりまして、私もゴルフ場、大会会長でありますので行っておりますと、けっこう駅から下りて、見に来られてるなという感覚を受けたところでございます。

どうか今日もいろんな御意見をお聞かせいただき、有意義な会にしたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。冒頭の挨拶とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

○事務局

ありがとうございました。

続きまして、次第の２番目になります委員の紹介に移らせていただきます。

お手元配布資料の一番後ろについてございます協議会規約の最後のページ、別表１の名簿を御覧ください。

名簿のうち、下線を引かせていただいております委員につきましては、人事異動等により前回の協議会から変更のあった委員のかたがたでございます。変更のあった委員の皆様を簡単ではございますが、紹介させていただきます。

兵庫県土木部次長、●●委員です。

○●●委員

●●です。どうぞよろしくお願いします。

○事務局

神姫バス株式会社バス事業部次長、●●委員です。なお、本日、欠席されております。

続きまして、三木市都市整備部道路河川課長、●●委員です。

○●●委員

●●です。どうぞよろしくお願いします。

○事務局

小野市地域振興課道路河川課長、●●委員です。

○●●委員

●●でございます。よろしくお願いします。

○事務局

兵庫県三木警察署交通課長、●●委員です。

○●●委員

●●です。よろしくお願いします。

○事務局

兵庫県立小野高等学校生徒指導部長、●●委員です。

○●●委員

●●です。よろしくお願いします。

○事務局

続きまして、変更のございましたオブザーバーの皆様を紹介いたします。

国土交通省近畿運輸局鉄道部計画課長、●●様。本日は、代理として●●様に御出席いただいております。

○●●委員代理

どうぞよろしくお願いします。

○事務局

同じく国土交通省神戸運輸管理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官、●●様です。

○●●委員

●●です。よろしくお願いします。

○事務局

兵庫県神戸県民センター県民躍動室神戸魅力づくり参事、●●様につきましては、本日、欠席でございます。

兵庫県北播磨県民局県民躍動室長、●●様です。

○●●委員

●●と申します。よろしくお願いします。

○事務局

委員の皆様、オブザーバーの皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日、オブザーバーの●●様の代理といたしまして、●●様に御出席いただいております。

○●●委員代理

●●です。どうぞよろしくお願いします。

○事務局

また、本日、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員につきましては、欠席の御連絡をいただいておりますこと、この場で御報告させていただきます。

本日、本協議会の委員25名のうち、出席が17名で協議会規約第8条第4項の規定により、出席人数が過半数に達しておりますことから、本会議は成立していることを報告させていただきます。

それでは、これからの進行につきましては、●●会長にお願いいたします。どうぞよろしくお願いします。

○会長

それでは、会議次第に沿って進行させていただきます。

3番、議事事項のうち、議事事項の1号議案、2号議案につきましては関連がありますので、一括してまずは事務局から説明をお願いします。

○事務局

あらためまして、皆さん、こんにちは。

三木市役所交通政策課の●●と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私のほうから、まず資料1と2を使いまして説明を進めたいと思うんですが、御説明は着座にて失礼いたします。

そうしますと、まず最初に資料1を使って、令和7年度の協議会の事業報告についてということで御説明を進めたいと考えておりますので、お手元に御準備をお願いいたします。

では、この資料ですが、神戸電鉄粟生線地域公共交通計画で掲げております3つの基本方針、それから基本方針に沿った主な施策ごとに実績を取りまとめた資料となって

ございます。

ページの右半分が令和7年度の実績としております。また、その実績のすぐ左側に1、2、3、4と縦に番号を振っておるかと思いますが、こちら、事業番号ということで、この番号を使いながら御案内してまいります。全部で64項目と非常に多数ございますので、いくつか絞って御案内をしていきたいというふうに考えております。

では、早速ですけれども、まず1ページ目でございますが、最初3番のところを御覧いただければというふうに思います。

こちらは、駅、駅前空間及びアクセス環境の快適性の向上についての取組となっておりまして、主に小・中学生を対象といたしまして、プロの絵を描くアーティストのかたと三木上の丸駅、駅舎内に掲出するアートを完成させていくといったようなワークショップ型の駅的美装化を実施いたしました。その結果、33人のお子様とその保護者のかた、合わせて60人のかたに御参加をいただいております。

事業番号5番に記載してございますとおり、神戸電鉄様独自で三木上の丸駅の駅舎塗装ですとか、駅舎内のベンチの更新を実施されておまして、よろしければ、美装化された三木上の丸駅にぜひ一度お立ち寄りいただければというふうに考えております。

続きまして、7番にまいりますけれども、費用の一部を神戸市様のふるさと納税を活用される形で、神戸電鉄様と神戸市様が共同で藍那駅の駅名看板更新及び駅舎塗装等に取り組まれております。

それから、少し下のほうに目を移していただきますが、項目11番のところでございます。こちらはパーク&ライド駐車場の利用促進の一環といたしまして、駅前時間貸駐車場のキャッシュレス対応などのリニューアルと併せまして、そのリニューアルに併せたキャッシュレス決済ポイントアップキャンペーンというものを「PiTaPa」と連携する形で実施をいたしました。

令和7年度のパーク&ライドの利用実績は、1つ上の10番のところの表にまとめてございますので、こちら、後ほど御確認いただければというふうに思います。

それから、資料2ページに移っていただきまして、事業番号で行きますと13番でございます。

こちら、三木市の取組でございますけれども、昼間時間帯（11時から14時台）になりますけれども、志染駅、三木駅区間の増便運行ということで、令和2年から継続しておりますけれども、令和8年度、令和9年度、この2年間に付きましても増便運行を継続す

るという決定をいたしました。

そこから下に移っていただきまして、15番から21番のところには、まちづくりの推進ということで、神戸市様、小野市様、それから三木市、各市で取り組んでおります住宅地の開発ですとか、魅力向上、それから企業用地の開発、企業誘致に関する取組ということで記載をさせていただいております。

それから、資料3ページに移っていただきまして、事業番号で行きますと22番、23番のようなところがございますけれども、このように、あじさいの森において、小野市様のほうで散策道の整備といったような、こういった小野市様の取組ですとか、24番、25番のところに記載しておりますように、駅とか鉄道を活用したイベントの実施などによりまして、観光資源の活用や誘客促進の取組をしております。

それから26番から30番でございますけれども、それぞれの実施主体におきまして企画乗車券の発行と交付ということで、実績、発行枚数等々の実績を記載してございますので、こちらも後ほど御覧いただければというふうに思います。

それから、資料の4ページに移っていただきまして、事業番号で行きますと41番、43番、それから次のページにまたがりますけれども、46番といったところの記載に関連する内容といたしまして、モビリティ・マネジメントの取組の一環として、兵庫県立三木東、三木総合高校様と連携させていただいた上で、いろいろな事業を共同で実施させていただきました。

連携して実施した内容は、神鉄トレインフェスティバルなどの鉄道事業者様が主催されるようなイベントにおきまして協議会と共同でブースを出展したりですとか、栗生線のPRにそのブース内で努めていただきました。そういったようなイベント自体の、そもそものイベント自体の運営にも携わっていただくなど、そのような取組をしております。

具体的には、来場されたお子様と一緒に手作りの缶バッジを製作していただいたり、神戸電鉄の車両などがデザインされたような、高校生がオリジナルにつくったような缶バッジの製作、その配布。生徒様が撮影、編集された栗生線沿線の魅力発信動画の放映といったような形で、いろいろな観点から公共交通の利用を促すような取組をいただいております。

それから、資料は5ページにまいりますけれども、52番から54番にございますとおり、季節の装飾を施したような装飾列車ですとか、クリスマス特別列車の運行、それから駅ホームにおける小野高校放送部様による放送の継続などによりまして、栗生線の「あし

た」のための学びの場づくりということで取組をさせていただきました。

続いて、資料最後のページになりますけれども、事業番号56番から58番のところ
で、栗生線サポーターズクラブの取組について記載をさせていただいております。

56番のところで会員数を掲載しておりますけれども、少し、近年会員数が減少傾向と
なっておりますので、一応本日の配布資料の一つといたしまして、サポーターズクラブの
申込書とチラシをお配りさせていただいておりますので、よろしければ、また周りのかた
ですとか、気になっているかたに周知いただいたりですとか、よろしければ、御加入も御
検討いただければというふうに考えております。

最後、64番のところの記載でございますけれども、前回の活性化協議会で神戸市様か
ら御報告いただきましたけれども、地域団体主催、それから神戸市、神戸電鉄様、協力の
下、木幡駅前でイベントを実施されております。推計で4,000人という非常に多くの
かたに御参加いただいたということで、このときも、栗生線の利用促進ですとか、沿線の
魅力化発信の取組の一つとして御紹介をさせていただいて、資料1の御説明を終わりたい
というふうに思います。

このまま説明を続けさせていただきますが、続いて資料2をお手元に御準備をお願いい
たします。

議事事項、2号でございますけれども、令和7年度の協議会の歳入・歳出決算でござい
ます。

上のほうが歳入の項目、下のほうが歳出ということでございます。

まず、上のほうの歳入ですけれども、1の負担金のところですね、予算額1,600万
に対しまして、決算額1,560万9,298円ということで、こちらは、沿線3市と神
戸電鉄様の負担金ということでございます。

2の繰越金、3の諸収入については、御覧のとおりということでございまして、決算
額、歳入合計は1,561万5,689円ということでございました。

また、下の歳出のほうですけれども、1の運営費につきましては、決算額が39万3,
251円。それから、2の事業費でございますけれども、1,560万円の予算に対しま
して、決算額1,522万2,438円ということでございました。

3番の返還金、4番の予備費については、御覧のとおりでございまして、合計で決算額
1,561万5,689円ということで、どちらも予算内に収まっているという結果でござ
いました。

なお、この会計監査を神戸市様にいただいておりますので、その報告につきまして、神戸市様からいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○●●委員

神戸市都市局の●●です。よろしくお願いいたします。

会計監査報告、令和7年度神戸電鉄粟生線活性化協議会歳入・歳出決算につきまして、決算書と証拠書類等を照合した結果、いずれも適正に管理され、違算なきことを確認いたしましたので、ここに御報告いたします。

令和8年6月2日、神戸電鉄活性化協議会監事、●●。

以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。

それでは、議事1号、2号について、何か御意見等ございましたら、挙手にてお願いします。

じゃあ、私からなんですが、もし御説明いただけるようでしたら、これ、神戸市さんになりますかね、64番の木幡駅前イベント、「みんなのふるさとまつり」、「新酒まつり」ということで、お酒を飲もうと思って、みんな電車で来られたんじゃないかなと思いますけども、何かどんな感じやったか、もし御報告がいただけるものであれば、事務局か誰か、行けますか。急に振ってごめんなさい。

○事務局

神戸市都市局駅まち推進課の●●と申します。

こちらの木幡の新酒まつりですけれども、地域の事業者のかたや自治会のかたたちが主体となりまして、イベントですね、新酒まつりと言いながら、いろんな屋台を出したりですとか、音楽イベントをしたりというので、周りのかたがけっこう集まっていたりのと、神戸電鉄さんの神鉄ハイクと連動してやっておりますので、ハイキングの後に寄っていただいたりということで、かなり鉄道利用者も多く参加いただいているイベントとなります。

○会長

はい、ありがとうございました。

突然にもかかわらず、ありがとうございました。

何か委員の皆様、御意見、御質問ありましたら。これでしゃべりやすくなったんじゃない

いかと思ったんですが、私の独りよがりですかね。

では、先頭で。

○●●委員

ありがとうございます。今のイベントなんですけど、これは、今年初めて行われたもので、きっかけはどういったものなのかというのを教えていただきたいなと思います。

○事務局

イベント自体は、おとしから実施しておりまして、地域の事業者のかたが発起人というか、地域で連携して何か駅前でイベントできないかというところで、神戸市と神戸電鉄で場所を提供しながらイベントを実施しているものになります。

○●●委員

ありがとうございます。

また、もう一つ御質問。

○会長

どうぞ。

○●●委員

事務局のかたに、サポーターズクラブのことなんですけれども、最近、会員数が減って、今の会員数も減っているような感じがするのですが、どんな感じですか。

○会長

いけますか。

○事務局

はい。

○会長

はい、どうぞ。

○事務局

お待たせしました。そうですね、サポーターズクラブの会員数、一般会員の推移のところで申し上げますと、令和元年度の第7期のときに、1,000名ほど、1,078人の一般会員がおられたところから比べると、そこから令和2年度に一気に600人台に減っているような状況です。そこからずっと600人台の数字が続いてはいるんですけれども、ただ、600数十名いたところが、直近では602名ということで、600名を切るか切らないかぐらいの一般会員の人数まで減ってきているといえますか、少し会員数が落

ちてきているという状況でございます。

○会長

はい、ありがとうございます。

私も先日、会員証がきたところですので、また御協力のほど、よろしくお願いします。

ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

（「なし」の声あり）

○会長

ないようですので、ひとまずさきに進ませていただきます。

これは議事ですので、承認をいただく必要がございますので、質問がないようでしたら、議事1号、2号について御承認いただけますでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

はい、ありがとうございます。拍手多数と認めますので、1号議案、2号議案は承認されました。

続きまして、議事3号、そして議事4号、これについても関連する内容がございますので、一括して説明をお願いいたします。

事務局、どうぞ。

○事務局

それでは、引き続き私のほうから資料3と資料4を使いまして、まず令和8年度の協議会の取組方針（案）について、それから令和8年度の歳出・歳入予算（案）ということで御説明させていただきます。

議事3号、令和8年度協議会の取組方針（案）についてということでございますが、お手元に資料3を御用意ください。

こちらの資料が計画の目標理念及び基本方針に基づきまして、行政、交通事業者、それから地域住民の皆様、各関係者が主体となりまして、公共交通の維持、活性化に継続して今後も取り組んでまいりたいというところでございます。

それから、前回の活性化協議会でも御承認いただいたところではあるんですけども、令和8年度、それから令和9年度の2年にわたって今ある神戸電鉄粟生線地域公共交通計画の改定に向けた取組を今年度からスタートする予定でございます。

なお、計画策定、計画改定の動きに関しましては、次回の協議会以降、恐らく冬頃を想

定しておりますけれども、そのあたりから本格的にスタートする予定でございます。

それでは、その下のほうに計画に基づく主な取組ということで確認を進めてまいりたいというふうに思います。

まず、（１）の基本方針１に基づく取組ということでございまして、大きく３つ上げてございます。

まず、アのところですけれども、鉄道安全輸送設備等整備事業補助によります支援ということでございます。

その下、イのところですけれども、駅的美装化（栗生線アートラインプロジェクト）の実施というところでございます。

それから、最後ウ、パーク＆ライド駐車場のキャッシュレス化ということでございます。

まず、アについてでございますけれども、協議会といたしましては、冒頭、会長の御挨拶にもございましたけれども、国への要望活動の実施による支援ということで、本年度も取り組んでまいりたいというふうに考えておりますけれども、国への要望内容につきましては、具体的には次回の協議会で皆様と協議させていただきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それから、イのところ、駅的美装化の一環といたしまして、こちらは令和６年度から実施しておりますアートラインプロジェクトでございますけれども、今年度も実施したいというふうに考えてございます。

イベントの内容といたしましては、対象は小学生ですとか中学生、それからその親子などを主な対象としたイベントとして実施することに加えまして、地域のことを知ってもらうきっかけにつながるような要素を少し取り入れた企画になるように検討していきたいというふうに考えております。

これによって、栗生線への愛着やマイレール意識の醸成に加えまして、栗生線沿線の魅力の再確認ができるような取組のイベントとできるようにというふうに考えております。

また、ウのパーク＆ライドのところですが、駐車場の利便性を高めまして利用を促進するため、パーク＆ライド駐車場の精算機のキャッシュレス化に引き続き取り組んでいくとともに、キャッシュレス化の周知、ＰＲそれからキャッシュレス決済を活用した駐車場の利用促進策といったところも引き続き実施していきたいというふうに考えております。

続いて、（２）の基本方針２に基づく取組でございますけれども、アの鈴蘭台のまちづくり、こちらは、神戸市様の取組でございます。

その下のイのところでございますけれども、こちら、三木市のほうになりますが、新たに完成いたしました多世代交流拠点施設の周辺整備ですとか、その利活用といった面、それから住宅地から駅へのアクセス交通の確保・充実ということで、少し、資料は裏面にまゐりますけれども、そういったところに取り組んでまいりたいと考えております。

それから、ウのところでございますけれども、小野市様のほうで「ひょうご小野産業団地」の利用促進ということで、それぞれ取り組んでまいりたいということで記載しております。

最後、エとございますけれども、鉄道及びバスの連携によるおもてなしきっぷの販売ということでございますけれども、こちらのほうは、協議会が実際に実施する取組となっております。

こちらは、近年、販売枚数が増加傾向ではあったんですけれども、昨年度について申しますと、販売枚数が減少した結果となりました。引き続きバス事業者様、それから神戸市交通局様との連携といったところは、引き続き継続していきたいというふうに考えておりますけれども、今年度はPRのところ、少し強化する部分と、あとはニーズ等の分析、アンケートの、今まではアンケートのところ、なかなか強化できていなかったところがあるんですけれども、そういったところのアンケートを収集するなど、ニーズ分析等によりまして、今後の販売数の回復に努めてまいりたいということで考えております。

それから、最後、（３）基本方針３に基づく取組でございます。

こちらのほうは、アのモビリティ・マネジメントの推進、それからイの利用のきっかけとなる乗車イベントの実施、それからウにあります通常列車でのサイクルトレインに向けた実証実験ということで記載をしてございます。

アのモビリティ・マネジメントの推進では、園児ですとか小・中学生を主な対象としたイベントの企画は引き続き行いますけれども、更には高校との連携の継続もしてまいりたいと考えております。

それから、イのところでは、地域住民のかたですとか鉄道利用者のかたが参加できるようなイベントの企画にも少し協議会として取り組んでいけないかというふうに考えているところでございます。

それから、最後、ウですけれども、新たな利用者の確保の取組の一つといたしまして、

令和7年度から通常列車の車両への自転車を持ち込むサイクルトレインというものに取り組んでおりますけれども、その実証実験を行っております。

今年度についても、安全性ですとか、経済性等の検証については、引き続き検証を続けていった上で、利用者の増加に向けた取組についても進めていきたいというふうに考えております。

資料3につきましては、非常に簡単な御説明ではございましたが、以上とさせていただきますして、続いて資料4にまいりたいというふうに思います。

そうしますと、資料4をお手元に御準備いただければというふうに思いますけれども、こちらの資料4につきましては、議事4号ということで、令和8年度の協議会の歳入・歳出予算（案）ということでございます。

上のほうが歳入、それから下のほうが歳出ということでございまして、それぞれ御説明させていただきますけれども、令和8年度の予算額、まず歳入のほうからになりますけれども、1番の負担金のところについてでございます。計画に基づく事業費、こちら、利用促進事業と言っておるところになりますけれども、こちらについては予算額が1,600万円。それから、計画策定に係る事業費といたしまして393万円。その合計で1,993万円の負担金ということで予算を上げさせていただいております。

それから、2の補助金といたしまして、計画策定に係る事業費に対して、一部国のほうから補助金ということでいただいております額、72万6,000円。それから、3の繰越金、4の諸収入ということで、合計2,065万8,000円という歳入の予算を組ませていただいております。

それから、歳出につきましてですけれども、令和8年度予算額1の運営費のところ、こちら、協議会の開催費等に当たる部分でございますけれども、運営費が40万円、それから2の事業費のうち、計画に基づく利用促進等の事業費といたしまして、1,560万円。それから、計画策定に係る事業費といたしまして、465万6,000円。3の返還金、4の予備費については、御覧のとおりでございまして、合計で2,065万8,000円ということで歳出も予算を組ませていただいております。

資料3、資料4についての御説明は以上とさせていただきます。

○会長

はい、ありがとうございました。

これについて何か御意見、御質問がありましたら、挙手にてお願いいたします。

はい、よろしいですか。

(なしの声あり)

○会長

またあれば、後ほどでもけっこうですので、挙手願いたいと思います。

これにつきましても、承認をいただく必要がございます。議事3号及び議事4号について、御承認いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

はい、ありがとうございます。承認とさせていただきます。

続きまして、報告事項に移ります。栗生線の利用状況についてということで、神戸電鉄様から御報告をお願いします。

○●●委員

神戸電鉄の●●でございます。

日頃は、弊社事業に対しまして御理解と多大な御支援を賜っておりますことを、この場をお借りしましてお礼申し上げます。どうもありがとうございます。

それでは、以降、着座にて栗生線の利用状況について御説明をさせていただきます。

資料5を御覧ください。

まず1ページ目でございます。1ページ目には、年度別の実利用者数の推移をグラフで表してございます。コロナでちょっとグラフ値が変になってございますけれども、コロナ前の状況を見てみますと、2014年から2019年に向けて、沿線の人口減少等の影響もあり、年々1%から2%ずつ栗生線については利用者が減少しておったというような状況でございます。この傾きにちょうど定規か何か紙を当てていただきますと、ちょうど2024年のところに大体来るというようなことで、去年の御説明では、これでもうコロナの影響はほぼなくなったというふうに見てますという御説明をさせていただいたかと思えます。

そういうことで言いますと、2025年は、それを若干下回るというようなところが通常の予想ということになりますけれども、2025年度につきましては、707万8,000人ということで、対前年に比べましても、若干ではありますが、0.2%増加をしておるというような状況であるというところでございます。これによりまして、2年連続目標値であります700万人を超えておるというような状況になっておるというところでご

ざいます。

ただ、先ほども御説明しましたように、コロナ前の傾向そのまま引きますと、減少するはずがプラスになっておるということで、このプラスの要因でございすけれども、大きなところで3点あるかなというふうに考えております。最大は、昨年度、大阪・関西万博が開催をされたということが大きな影響。万博に来られたかたが栗生線のほうに観光で来られたということは、あまりないのですけれども、逆に、栗生線沿線にお住まいのかたが万博のほうに行かれたということで、それも関西地方にお住まいの方は、一度ならずとも、2度、3度と行かれたかたが多いというようなことで、万博に行かれるに当たっては、公共交通機関を使われた可能性がかなり高いというようなことで、その際に神戸電鉄も御利用をいただいた、その可能性がかなり高いということでございす。

それから、もう一点は、神戸市さんの施策によりまして、通学定期の無償化という施策を打っていただきました関係もあるのか、学生定期の数が増えたというようなことで、それが実利用者数に反映されているのではないかとこのところございす。

それから、もう一点でございすけれども、これは、年度の後半に大きく影響が出ておるのですけれども、中東情勢の不安定化によりまして、ガソリン価格がかなり上がりました。これが急激に上がった関係で、今まで車御利用のかたが一部公共交通機関、電車やバスに振り返られたという可能性があるということで、この3点。

ただ、この3点については、なかなか定量的な押さえはできませんので、あくまでも定性的な分析としますと、そういうふうな傾向が見られるのではないかとこのところでは、若干ですけれども、昨年を大きく上回るような状況になっておるということです。

ただ、今年度につきましては、そういう特殊要因がありませんので、やや心配しておるところではございす。そういう意味で、グラフの中に書かせていただいておりますけれども、2年連続して目標値達成をしておりますけれども、楽観は許されないレベルであるというふうな表記をさせていただいております。

続きまして、2ページ目、3ページ目を御覧ください。

これは、それぞれの利用状況の月別の実数値と、それから下には各年度との比較を表してございす。下の表の一番上を見ていただきますと、前年度との比較ということで月別に表しておりますけれども、5月と、それから11月と1月については、マイナスになっておりますけれども、それ以外の9か月についてはプラスということで、全体的にプラスになっておるということでございす。

その中でも、11月については、マイナス4.3%という大きなマイナスになってございますけれども、これについては、前回もちょっと触れさせていただきましたけれども、25年度については、土日と祝日が12日ということで、前年は10日だったということで、休みの日が2日も多かったと。休みの日が多いということは、学生さん、あるいはお勤めのかたが定期を御利用されないというような形になりますので、その分が実利用としては減っておるというようなことで、休みの日が2日多かった影響がこのマイナス4.3というところに反映をされているというところでございます。

また、1月については、マイナス1.1というふうに出ておりますけれども、これは2024年1月に少し雪が降りまして。雪が降りますと、車利用ではなくて、電車利用が増えるという傾向がございまして、その影響で2024年は1月、少し特需があったと。その反動で2025年はへこんだというような状況でございます。

続きまして、4ページ目を御覧ください。

4ページ目には、券種別の表をつけております。定期と定期外ということで、2004年度との比較におきましても、定期及び定期外ともに、若干ではありますけれども、プラスになっておるということで、プラス要因として上げました大阪・関西万博については、定期外のほうに寄与してるというところでございます。また、神戸市さんの施策と、それからガソリンの影響については、主に定期にプラス要因として働いておるというようなことで、それぞれ両方ともプラスになっておるというところでございます。

それで、最初に少し2026年は楽観視できませんよというような話をさせていただきましたけれども、4ページ目のコメントの一番下のところに少し書いておりますけれども、2026年4月の成績が出てございます。それを2025年4月と比べますと、全体でマイナス1.2%ということで、定期についてはマイナス1.8、定期外についてもマイナス0.3というような、両方ともマイナスの数字が出ておるというようなことでございます。

数字にしますと、7,109人のマイナスということでございます。ひと月に7,100人ぐらいマイナスになりますと、単純にこれを12掛けると年間ぐらいになるのかなということで、これに12を掛けますと、8万5,000人ぐらいのマイナスになりますので、2025年から8万5,000人を引いてしまうと、700万人を下回ってしまうというようなことになりますので、少し心配をしておるというところでございます。

それから、続きまして5ページ目でございます。

5 ページ目には、更に詳細の各駅別の状況を示しております。下の表の一番左に乗降の割合ということでお示しをさせていただいております。神戸市さんの合計が47.1%ということでございまして、僅かですけれども、0.4%プラスになってございます。次に三木市さんが36.2%ということで、三木市さんについては、若干ですけれども、0.3%マイナスになっておる。小野市さんについては、16.7ということで、前年と変わらずというような状況であるというところでございます。

最後に、6 ページ目でございますけれども、6 ページ目に各駅別の対前年の比較をしてございます。表の一番右が対前年の比率でございます。

まず、神戸市さんのところでございますけれども、大きく数字になっておりますのが藍那駅でございます。藍那駅がプラス5.4ということで伸ばしてございますけれども、これは、藍那小学校の生徒数が若干増えておるというところで、もともと乗降者数はそんなに大きくありませんので、小学生が少し増えたというだけで、大きな伸びになっておるというところでございます。

あと、その下の木津駅でございますけれども、木津駅につきましては、神戸市の第2給食センターが1月から稼働を始められたということで、12月から試験稼働をされておりますので、それらの影響によりまして伸びておるというところかというふうに思っております。

ただ、栄、それから押部谷につきましては、それぞれマイナス3.4、マイナス2.1という形で下げてございますけれども、この両駅につきましては、後背の住宅地の高齢化による減少というふうに分析をしております。

続きまして、三木市内の駅でございますけれども、緑が丘がマイナス2.4ということで、大きくマイナスになってございますけれども、これは、高校の統合効果の影響で、学年が1学年少なくなりましたので、その影響が出ておるというふうに見てございます。

それから、その2つ下の志染でございますけれども、逆に統合になりましたので、ここが本来ならば増えないといけないんですけれども、残念ながら三木総合高校の生徒数については、あまり変わっていないというところがございますので、学生の影響はほとんどないと考えておりますので、逆にやはり後背の住宅地の少子・高齢化の影響でマイナスになっているというふうに分析をしているところでございます。

続きまして、小野市域でございますけれども、樫山がマイナス2.3%ということで下げてございますけれども、近くの匠台工業団地については、従業員が、若干ではあります

けど、増えておるといふうに伺ってますので、工業団地が増えているので、本来ならば、ここ、プラスにならないとおかしいんですけども、マイナスに出ておるといふうなところで、工業団地にお勤めのかた、外国人のかたも含めて、交通手段が若干変わってきておるといふうに考えておるところでございます。

それと、市場がマイナス4.6と、それから葉多がプラスの4.3ということで、大きく数字が動いておりますけれども、この両駅とも乗降者数がそれほど大きくない駅でございますので、少しの変化で大きなパーセンテージになっておるといふうなことで、原因については、よく分かってございませんけれども、葉多については、若干、小野工業高校の生徒数が、若干ですけども、増えておるといふうな影響もあるのかなというふうに分析しておるといふうところでございます。

簡単ではございますけれども、利用状況についての御説明でございました。

○会長

はい、ありがとうございました。

さきほど御報告がありましたが、これについて、御意見、御質問ありましたら、挙手にてお願いいたします。

はい、マイクを。どうぞ。

○●●委員

すみません、神戸市の都市局の●●です。

2025年度が約0.2%前年度より増えて、その理由が3つお示しいただけたんですけども、2025年1月に運賃改定をされてますので、その運賃改定によって利用者への影響をどのように分析しているのかというのが1点目の質問と、あと、利用者が増えた理由として、神戸市の高校生の通学費無償化の影響があるというふうにお伺いしました。これに関しては、定量的な分析はないということなんですけども、もともと伺っていたのは、神戸電鉄の沿線においては、もともと地形的に、条件的に公共交通を利用されるような学生さんが多いので、あまり公共交通、もともと定期をお持ちのかたが多いということで、転換がみられないんじゃないかというふうにお伺いしてました。それが今回、増収、利用増の原因として上げられているのは、どういうふうな学生さんの利用が通学定期の利用に転換したのかということと、どのような地域でそういうのが見られたのかということがもし分かれば、教えていただきたいです。

○会長

はい、では2点、お願いいたします。

○●●委員

それでは、まず1点目の運賃改定をした影響でございますけれども、運賃改定を通常いたしますと、イッソウといって、電車利用から車利用のほうにある程度のかたが移行されるというのがこれまでの傾向でございました。ただ、今回については、諸物価がかなり上がっておりまして、ほかの値段がどんどんどんどん上がっていく中で、我々のほうも運賃を改定をさせていただいたということで、通常であるならば、利用のお客様からいろいろ運賃改定に対して厳しい御意見をいただくんですけれども、今回については、ほとんどその意見もなかったということで。それで、実際の利用については、運賃改定前と改定後と比較しても、ほとんど利用者数に変化がなかったというところがございまして、運賃改定による減少というものがほぼなかったというふうに分析をしております。

それと、2点目の神戸市さんの通学定期の無償化の件でございますけれども、実は、当社の沿線の高校の生徒数自身が、若干ですけれど、減少しておる。ところが、沿線全ての高校生、要するに16歳から18歳の高校生に匹敵するところの人口については、これは微妙に増加をしております。ですので、沿線の高校に通わずに、逆に沿線外の遠方まで通学で行かれてると。そういうのが無償化によって、これはあくまでも推測ですが、近くの高校ではなくて、遠くの高校に行っても、通学については無償であるというようなこともあって、割と遠方の高校に通われる比率が増えておるのではないかなと。

特に神戸電鉄の沿線に限っては、なかなか坂を自転車というわけにいきませんので、自転車のかたが定期に変わったという比率は低いと思っておりますので、逆に近くに本来ならば通われるようなかたが、遠方まで行かれておるというようなことの比率が増えたというふうに分析をしておるところでございます。

○会長

いかがですか。

○●●委員

はい、ありがとうございます。

確かに神戸市の高校生の無償化は、今まで市内の学校に通うかたを対象にしていたものが、市外の学校も昨年度から半額補助になったということで、その影響が出たのかなというふうに思いながら聞いてました。はい、ありがとうございます。

○会長

はい、ありがとうございます。

ほかに御意見、御質問がありましたら、挙手にてお願いいたします。

お気軽に、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようでしたら、本日の議事事項及び報告事項は全て終わりましたが、この際、せっかくですので、何か全体を通しまして御意見等ありましたら、挙手にてお願いいたします。

いいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようでしたら、余談になりますが、日曜日にNHKの大河ドラマ、豊臣兄弟が放映されておりまして、この前の日曜も三木城、別所長治が映っておりましたが、来週、そして再来週ぐらいは乞う御期待というふうに思っておりますので、またお時間ありましたら、見ていただければと思います。

最後に、もし御質問、何かありましたら、挙手にていただきますが、よろしいでしょうか。

●●さん、どうぞ。マイク行きます。

○●●委員

ごめんなさい。いつも御苦労さまです。

これを今日、見せていただいて、その中で、粟生線サポータークラブの写真が載ってるんですよ、この神戸電鉄とコスモス畑の。これがどこかなと。それをちょっとこの端にも書いてれば、鉄っちゃんなんかが好きだろうし、下にもこう5枚ね、写真が載ってますけど、これも何かちょっと書いてると、ほかから見たらいいんじゃないかなと思ったんですけどね。

○会長

ありがとうございます。確かにこれを見て、じゃあ、神戸電鉄に乗って、ここへ行こうかという人が現れると思いますけども、これについてコメントは誰に求めたらいいのかあれですけども。

○事務局 そうですね、御意見ありがとうございます。

この写真自体は、ごめんなさい、すぐ手元でどここの場所かというのがすぐ出ないのが大変申し訳ないんですけど、失礼いたしました。場所が、小野市内にあります加古川橋梁のところを写している写真になりますので、写真自体は粟生線の載っている写真をここで使わせていただけてます。ただ、おっしゃられたとおり、場所がどこかという明記は確かにないので、何かこれを見て、何かこう来たいなというきっかけづくりという点では、次回、今回ポスター何部かつくっているところがあるので、次回のポスターのところから、何かそういった取組もできればなというふうに考えていきたいと思います。

○会長

せっかくなんで、●●さん、さっきの写真コンテストで表彰されるの。マイクが後ろから行きますので、せっかくです。

○●●委員

これ、地域づくり協議会が毎年、フォトコンテストが沿線、粟生線の、その中の応募作品。だから、小野で発表する場合は、場所も明記しております、ここは。たぶん、これは粟生駅です。前、一回崩れたとこですね、これ。崩れたんですね、堤防というか、沿線の線路の下が。そこです。それは、小野のほうではきちっと場所を明記して。だから、もし使う場合は、お問合せしてもらったら、場所、はっきり分かる。

○会長

はい。私はすぐ分かったんで失礼をいたしました。

ほかにはないですか。せっかくです。

どうぞ。

○●●委員

私、栄の駅でお花、生けてるんですけど、そのときに、前回、サイクルトレインで試しにやるという期間やったと思うんですけど、アベックのかたが栄の駅に入ってこられたんですけど、スロープもなければ、階段だけなんで、大丈夫かなというのがね。やっぱし、これをするんだったら、それだけの設備をして、もちろん電車の中にも、普通の車両の端っこのほうにぱっと座ってる写真がありましたけど、やっぱしそれなりの設備をしてからちゃんとやったほうが、まあね、いいんじゃないかなと。安全面においてもね、と思ったんです。

以上です。

○会長

ありがとうございます。

ふだんから栄駅の美装化とかいろいろと取り組んでいただいて、ありがとうございます。

これについては、神戸電鉄さん行きますか。どうでしょう。

はい、マイク行きます。

○事務局

失礼いたします。神戸電鉄運輸部の●●でございます。

サイクルトレイン、今回、実施させていただきまして、様々な駅を決定させていただいた際に、なかなか弊社の粟生線の駅、本当、入ってふらっという駅はすごく数が少なくてですね。栄駅とかでしたら、階段が5段、6段というぐらいなので。あその駅であれば、まだ、こう。特に、今回、スポーツタイプのサイクルのかたに限定してましたので、言ったらアスリートのかたというんですかね、そういうかたになりますので、あのあたりの階段であれば、持っていただけるかなというところで、まず一步目の社会実験でございますので、いきなり設備を整えとかとなってくると、それなりの費用もかかってまいりますので、まずはスモールスタートということで、現状の設備等で実施できる範囲で実証実験をしてみましょうというところでスタートいたしましたので、栄の駅も、これなら大丈夫だろうというところで選ばせていただきましたのと、栄の駅は、神戸市様のレンタサイクルの拠点の一つでもございましたので、そのあたりと連携できないかなというところで栄の駅を選ばせていただいと、そういった経緯がございます。

○●●委員

サイクルロードありますからね。神出山田自転車道があるんでぜひ楽しんでいただきたい。

○会長

アベックでという話でしたね。

○●●委員

アベックだったと思います。

○会長

アベックは年配のかたですか。若いのかたですか。

○●●委員

若いです。

○会長

若い方なら、お互い手を取って、階段を歩いてもらったと思いますけども。まあ、それは余談で失礼しました。貴重な意見、ありがとうございます。

せっかくですので、もしあれば、マイクを事務局に返しますが、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○会長

では、事務局にマイクをお返しします。

○事務局

●●会長、会議の進行、ありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、協議会副会長、小野市の●●に御挨拶をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○副会長

はい、小野市の●●でございます。

皆様、真剣な御議論、ありがとうございました。

今、お話を聞いておりますと、一生懸命皆さん、これから神戸電鉄を残していくにはどうしたらいいかということでお考えいただいていると思うんですけども、先日、私、神戸新聞の政経懇話会に出させていただいて、そこでローカル線を残すには、どうすればいいかというふうな話を聞いてきました。それまでも勉強会、私もあちこち行ってるんですけども、そこで厳しい言葉が一つありまして。公共交通を残すというのは、乗って残そうということでは残しませんよと厳しい御意見がそこでありました。実際には、乗って残そうといっても、神戸電鉄って、そのとき、神戸新聞に出てるんですけども、1992年から55%乗車客が減っていると。今、廃線が騒がれているJRの西脇、谷川で75%減っておりますので、母数が違いますから、一概には言えませんが、神戸電鉄もそれぐらいの数で乗車数が粟生線については減ってきているということで、相当な危機感を持たないといけないということが一つであります。

それで、さきほどの乗って残そうという話になりますけれども、なかなかそれだけでは残らない。今回、お聞きしたのが、やはり事業者、それから住民、地方自治体も含めて、それなりの覚悟が必要だということで、さきほど、神戸市さんからいろいろと発言がございましたが、神戸市さんも既に神戸電鉄さんの株を1.4%取得されてるということで、

神戸電鉄の運営にも参画されようとしているということで、やはりそういう覚悟をお持ちだと。

それからすると、まだ我々、小野市、ここでも利用が少ないんですけども、なかなかそこまで行ってない。沿線しっかり乗っていただくかということをやってるんですけども、なかなかこれからはそういうことでは簡単には電鉄は残していけない可能性があるということ。特に住民の皆さんがたにもお考えいただきたいのが、なかったときのリスク。コンビニなんかも同じなんです。山間部のコンビニ、できて、すぐになくなってしまって、あったら便利だったのに、なくなってしまったというふうによく言われるんですけども、使ってないんですね。それで、なくなってから、ああ、もうちょっと使っといたらよかったなというふうなことを、スーパーなんかでも同じように、そういうことを言われると。そういう想定をやはり住民全体がしていけないといけな時期になってきているのかなという危機感をやはりある程度持っていけないと、なかなかこういうものは残っていけないということがございます。

さきほど神鉄サポーターズクラブのほうも減ってきたという話がありますがけれども、確かに我々の市役所でも、私も入るんですけども、だんだんとやはりそういう意識が減ってきて、乗らへんから関係ないわというふうな格好で、そこに協力しない職員が増えてきているのも事実でありますので、やはり沿線である、ないにかかわらず、やはりこういう鉄軌道がなければ、どういうことになるのかということ、当初はそういうことも話をされてたと思うんですけども、ここ最近、そういうことがなくなってしまって、取りあえず乗って残そうみたいな、そこばかりに話が行ってますので、なかなかピントもずれてきている可能性があるということも感じた次第であります。

今後、厳しい話になりますけれども、そういうことも含めながら、皆さんがた、もう一度神戸電鉄があると、どういうメリットがあるのか、ないとどうなるのかということもしっかりと考えていただきながら、この会を続けていけたらよいのになというふうに思った次第であります。

また、本日、●●事業本部長が詳しい御説明を常にしていただいてるんですけども、恐らくこれも最後だというお話をさきほどお聞きしまして、退任されるということです。本当に御苦労さまでございました。

○●●委員

3年間いろいろお世話になりました。ありがとうございました。6月17日の株主総会

で退任することになりました。どうもありがとうございました。

○副会長

また引き続き神戸電鉄さんには、しっかりと従業員、我々と一体になりながら、続けて
いただきたいと思いますので、今後も引き続きよろしくお願いします。本日はどうも御苦
労さまでございました。

○事務局

副会長、ありがとうございました。

それでは、これをもちまして第57回の活性化協議会を閉会いたします。

なお、次回の協議会につきましては、9月頃開催を予定しております。御多用のところ
恐縮ではございますが、その際には御参集賜りますようお願い申し上げます。本日は誠に
ありがとうございました。